

◆新名物『祇園坊柿ジェラート (商品名: みんなのきぼう)』を町内児童・生徒全員へ無償提供しました!!

町の財政支援、砂谷牛乳と安田女子大学の技術支援を得て、殆ど廃棄されてきた祇園坊柿の規格外・キズモノ・軟化果実をペースト化した後、安定的に高級ジェラート (イタリア風アイス) を製造することに初めて成功した、言わば『これまで捨てられていたものがお金に変わる』取組みである『祇園坊ジェラート (商品名: みんなのきぼう)』の一般発売に先立ち、町内全小・中学生および加計高校生に無償提供しました。

町の未来を託すに値する祇園坊柿の新たな展開を、町の未来を担う児童・生徒達に食べてもらうことで、祇園坊柿の素晴らしさや将来性に関心を持ってもらうことが目的です。

なお、本品は町内初の『ふるさと応援寄付金 (町内の児童・生徒育成支援)』付商品で、1個につき18円が、寄付金となり、町内の子ども達の育成支援に使われます。つまり、町の宝である子ども達そして『祇園坊柿』を支える決意を明確にした商品なのです。

なお、本品は10月31日より道の駅で販売を開始します。(当店は個数限定販売)併せて、お歳暮セット (6個入り、2,600円税込、送料別)を限定100セットで試験販売します。

詳細は観光協会 (☎28-1800)へお問い合わせください。



◆広島県チャレンジフォーラムで、祇園坊柿『チョコちゃん』の取組みを発表しました。

広島県チャレンジフォーラム2015 (県内自治体の創意工夫により“住民満足度”の向上に挑戦する取組みについて、県市町が連携して発信することで県民の行政に関する関心を高め、自治体間で共有することによる更なる住民サービスの向上等を目的とした事業)で当町『チョコちゃんプロジェクト』が、大竹市や神石高原町の取組みとともに、地方創生の『好例』として選定され、10月14日の発表会では関係町民による発表が行われました。他地域が、町外出身者の代表者中心で発表するなか、当町は関わった全員が分担して、発表するなど、あくまでみんなでプロジェクトを支えていることを強調しました。

このことから、町民一人ひとりの強みを組合せ、不足部分は町外協力者の助力を得ることによって、大きな流れになることを証明できたと確信します。

そして、町外出身町民が、町民と町外協力者を繋ぐ役割を担えることを証明できたと確信します。

単に『売れた。有名になった。』ことのみならず、当町を含む過疎地での有効なプロジェクト、運営のあり方を示すことが出来たことこそ、チョコちゃんプロジェクトの本当の成果なのです。

今回、発表会にご参加くださった町民の皆さんに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

